**いとうせいこう×奥泉 光**

**＜文芸漫談シーズン４＞**

**田山花袋「蒲団」**

この企画は、いとうせいこうと奥泉光が、小説の面白さを、笑いを取りながら伝えたいと、漫談形式で始めた文学ライブです。

芥川賞作家と稀代の仕掛人が捨て身でおくる、漫談スタイルの超ブンガク実践講座。

*小説の書き方・読み方がクスクスわかる？かも！*

作家・クリエーターとして活躍する“いとうせいこう”と、芥川賞作家であり大学教授の“奥泉光”による耳馴染みのない『文芸漫談』なる公演が、成城ホールで行われる。

この公演は、下北沢の北沢タウンホールで2006年から年3回のシリーズで行ってきたもので、今回はその40回目。お題は田山花袋の『蒲団』。

内容、構成はいたってシンプルで、文学作品を題材にし、笑いを盛り込み、二人で作品を語っていく、漫談形式のトークショーです。

同類のトークショーのように、作品への理解を与えることにこそ違いはないのですが、そこに、博学がユーモアをまとったような二人の『笑い』が入ることにより、お客さまの興味をより深いところまで誘い、“豊かな文学”になるのでは、との試みです。

今回の「蒲団」は、蒲団に残るあのひとの匂いが恋しい―赤裸々な内面生活を大胆に告白して、自然主義文学のさきがけとなった田山花袋の記念碑的作品
何だ、それなら知っているよ！と、言われる方も、二人の手にかかると、こんな読み方もあったのかと納得いただけるものと思いますよ！

出演■**いとうせいこう×奥泉 光**

日時■**2017年4月28日（金）19：00開場／19：30開演**

料金■2,500円（全席自由）※開演の1時間前より入場整理券を発行します

会場■成城ホール（☎ 03-3482-1313）世田谷区成城6-2-1

　　　　　　小田急線「成城学園前駅」下車徒歩5分

ﾁｹｯﾄ問合せ■Ｋ・企画　（☎＆FAX 03-3419-6318）

　　　　　　　HP <http://k-kikaku1996.com>

　　　　　　　E-mail <bungeicomic\_4@k-kikaku1996.com>

　　　　　■成城ホール　（☎ 03-3482-1313）

　　　　　　　HP <http://www.seijohall.jp>

　　　　　■北沢タウンホール（☎ 03-5478-8006）

　　　　　　　HP <http://www.kitazawatownhall.jp>

　　　　　■イープラス

　　　　　　　HP <http://eplus.jp/>

主催■成城ホール（アクティオ株式会社）

企画製作■舞台よろず相談所 Ｋ・企画

**『蒲団』梗概**

『蒲団』（ふとん）は、日本の自然主義文学運動の先駆けとなった作家、田山花袋を代表する中編小説。

芳子のモデルは花袋の弟子だった岡田美知代、秀夫のモデルは恋人の永代静雄である。

「蒲団」の世評が高まったことで、2人の人生にも大きな影響を与えた。

妻子ある作家・竹中時雄に横山芳子という女学生が弟子入りを志願してくる。

はじめは手紙のみのやりとりだったが、やがて芳子は上京し、時雄の家に住み込みの内弟子となることになる。

時雄は芳子に恋心を抱くが、芳子には秀夫という恋人がいた。

二人を別れさせようとする時雄であったが、叶わず、芳子を破門して田舎へ帰らせる。

芳子がいなくなった家で、時雄は、芳子が寝起きしていた蒲団に顔を埋めて泣くのであった。

**田山花袋　＜1872年～1930年＞**

本名は録弥。

栃木県邑楽郡館林町（現・群馬県）に生れる。

6歳で父を失い、貧困の中で育つ。

1891（明治24）年に尾崎紅葉を訪ね、江見水蔭を知り、彼の指導で小説を書き始める。

1907年、女弟子との関係を露骨に告白した『蒲団』が文壇に異常な衝撃を与え、自らの地歩を確実にするとともに、自然主義文学の方向性を決定した。

以後『生』『妻』『縁』等の長編を次々と発表。

代表作『田舎教師』は名作の評が高い。

晩年は宗教的心境に至り、精神主義的な作品を多く残した。

1928年（昭和3年）末に脳溢血のために入院。

さらに喉頭癌を起こし、1930年（昭和5年）5月13日、自宅で死去した。

享年58歳。

**出演者紹介**

**【いとうせいこう】**

1961年、東京生まれ。 早稲田大学法学部卒業。 作家・クリエーター。

『ノーライフキング』で小説家としてデビュー。

その後『ワールズ・エンド・ガーデン』『解体屋外伝』『豊かに実る灰』『波の上の甲虫』などを執筆。

2013年『想像ラジオ』で第35回野間文芸新人賞受賞。

最新作『鼻に挟み撃ち』（2013年すばる12月号）で2度目の芥川賞候補にノミネート。

主なエッセイ集として『見仏記』（共作／みうらじゅん）『ボタニカル・ライフ』などの他、舞台・音楽・テレビなどで活躍。

公式HP＝http://www.froggy.co.jp/seiko/

**【奥泉 光】**

1956年、山形生まれ。国際基督教大学大学院修了。小説家・近畿大学教授。

主な小説に『ノヴァーリスの引用』『バナールな現象』『「吾輩は猫である」殺人事件』『プラトン学園』『グランド・ミステリー』『鳥類学者のファンタジア』『浪漫的な行軍の記録』『新・地底旅行』『神器—軍艦「橿原」殺人事件』などがある。

1993年『石の来歴』で第110回芥川賞受賞。

2009年『神器—軍艦「橿原」殺人事件』で第62回野間文芸賞を授賞。

2014年『東京自叙伝』で谷崎潤一郎賞を授賞。

公式HP＝http://www.okuizumi.com/